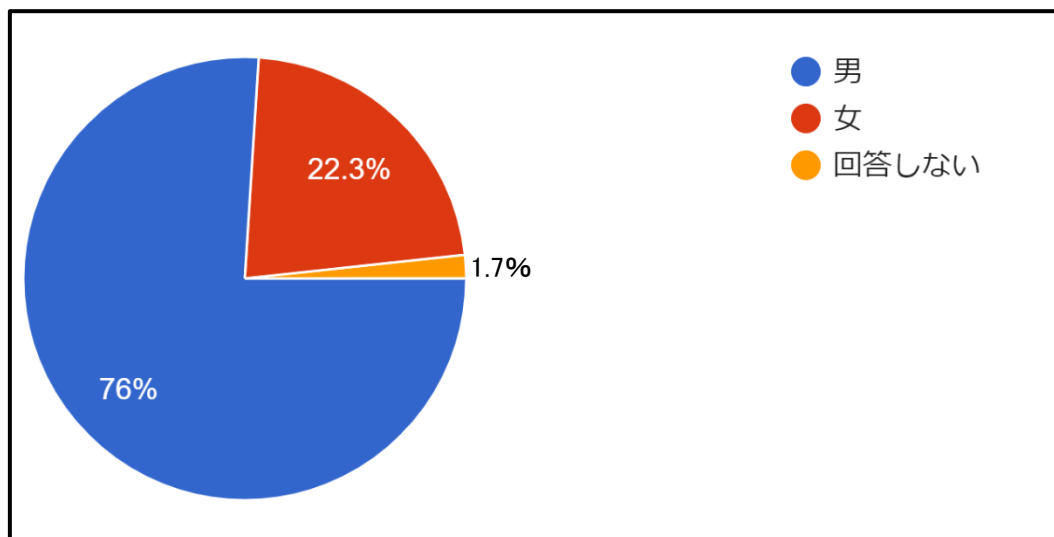


【調査結果報告ならびに考察】
アンケート「綾部のUターン経験者アンケートまとめ」

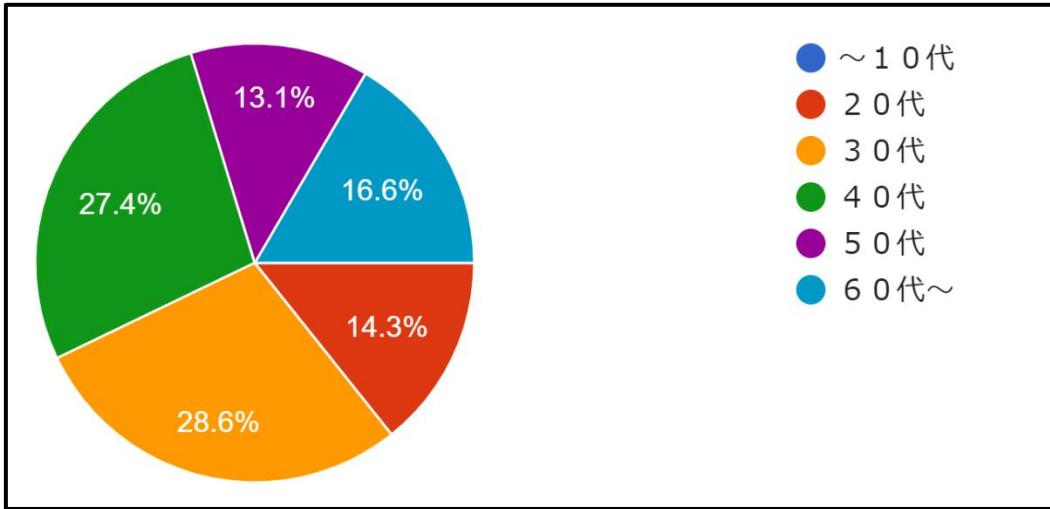
実施者	： (一社)綾部青年会議所 社会開発委員会
目的	： 綾部市にUターンした方に関する意識調査
対象者	： 綾部市にUターンした方(年齢・性別不問)
方法	： インターネット(Googleフォーム) [告知・回答促進] ①公式SNSを用いた広報 ②(一社)綾部青年会議所メンバーのSNS、LINE等を用いた発信、拡散
調査期間	： 2021年9月2日(金)～2021年9月22日(水)
有効回答数	： 175人(男性134人 女性38人 性別不明3人)

1. 回答者の属性

(1)性別



(2) 年齢

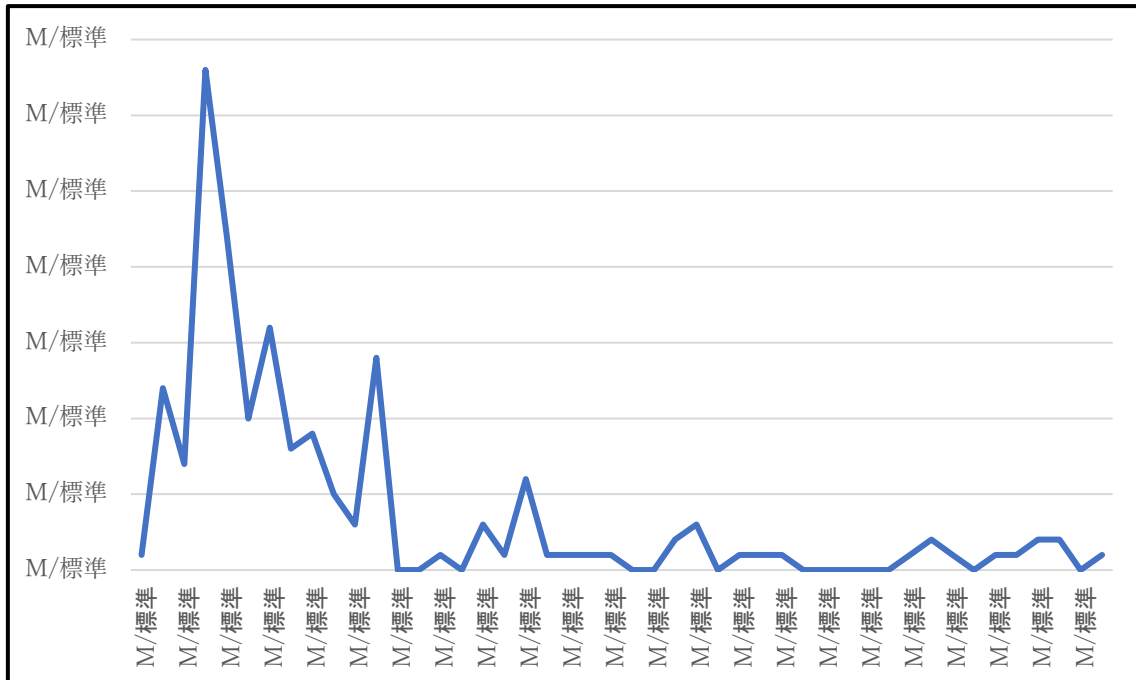


最も多かったのは30代(28.6%)で、40代(27.4%)、60代(16.6%)、20代(14.3%)、50代(13.1%)と続く。

2. 転入時における状況・意識

(3) Uターン当時の年齢を教えてください。

平均年齢 28歳 中央値 25歳 最大値 22歳



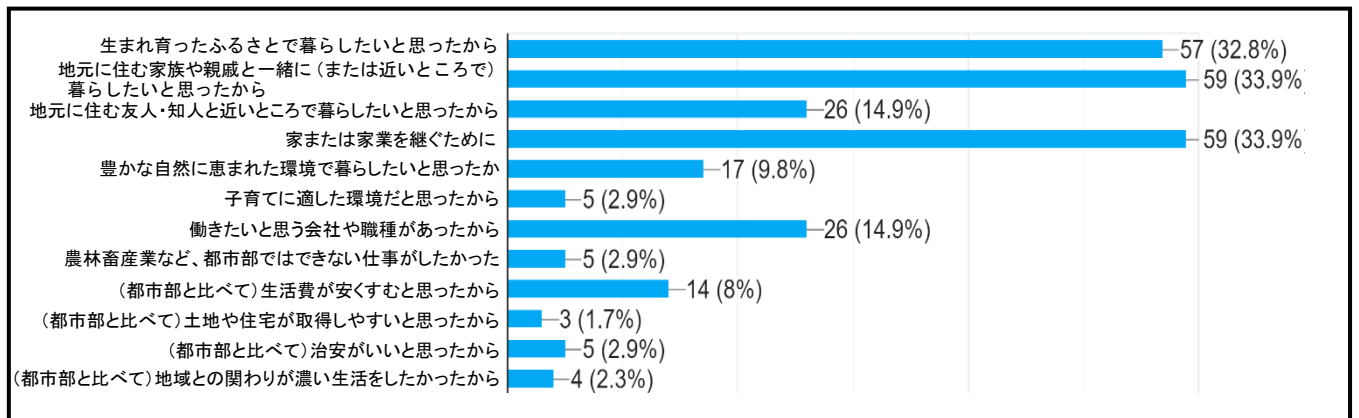
平均年齢は28歳であり、25歳前後での年齢層がUターンする傾向が高いことが分かる。また、Uターン者で最も多い年齢は22歳ということが分かる。

(4)Uターンした際の家族構成(同居)を教えてください。

Uターン時の年齢	独身	+配偶者	+配偶者+子	+子
20代	93/117人	5/117人	15/117人	4/117人
30代	11/26人	1/26人	13/26人	1/26人
40代	5/9人	1/9人	3/9人	0/9人
50代	0/5人	0/5人	0/5人	5/5人
60代	1/6人	0/6人	2/6人	3/6人

Uターンをした際の家族構成で最も多いのは20代で独身であると分かる。

(5)Uターンしたきっかけ(理由)を教えてください。あてはまる選択肢がない場合は、「その他」を選択し、具体的に理由を回答ください。【複数回答可】



その他の意見

- ・親からの声かけ 5件 ・子育てに親の支援を得るため 3件 ・親の介護 8件
- ・コロナ禍の影響 2件 ・地元への転勤 3件 ・地元への就職、転職 8件
- ・都会での生活に疲れた 2件 ・起業 1件 ・定年 1件 ・理由なし 2件

【考察】

Uターンしてきた年代と家族構成は、独身で20代の頃が圧倒的に多く、理由として「生まれ育ったふるさとで暮らしたい」「地元に住む家族や親せきと一緒に暮らしたい」「家または家業を継ぐために」が大きな理由として挙げられる。

総合的に家族や親戚、友人と人とのつながりを理由にUターンをすることが要因であると分かる。次いで、家業、働きたい職場があることがきっかけとなっている。これは生活の基盤が地元で整っている人の方がUターンを選択しやすい結果であると分かる。

一方、子育てに適した環境を理由に挙げる人は少ないと分かる。家族連れの層を増やすには綾部市での子育て支援情報などについて広く知らしめる必要がある。

【キーワード】 ターゲット層20代

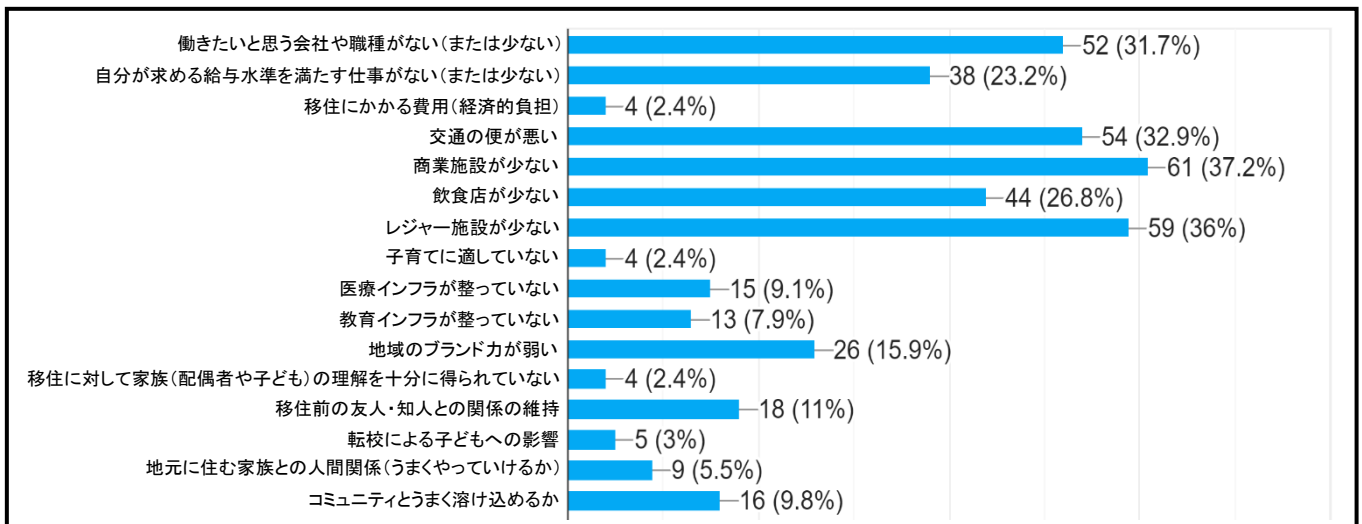
人と人のつながり（親族、友人）、郷土愛、仕事
子育てに適した環境

【ポイント】

- ・地元生活基盤が整っている人
- ・子育てに適した環境の構築及び情報発信
- ・家族を連れてのUターンしやすい環境づくり

3. 転入時の不安と解消

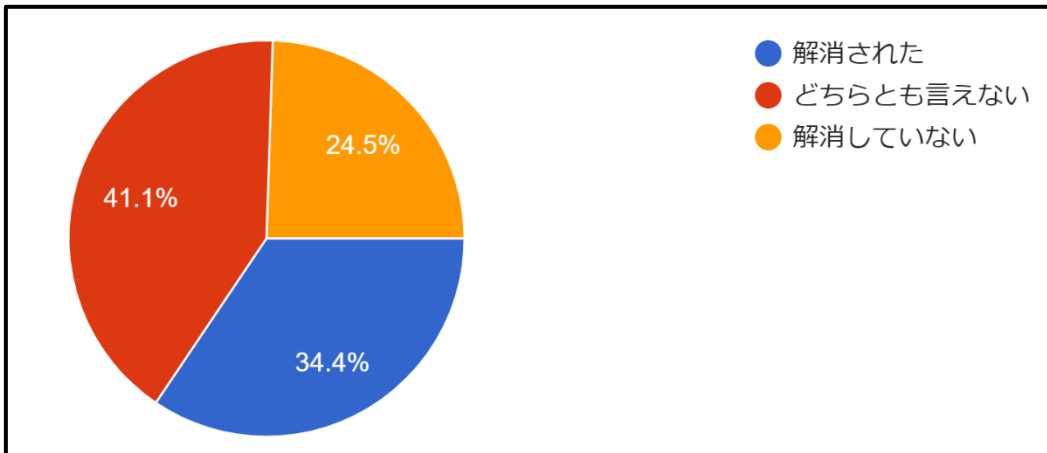
(6)Uターンする際(または検討する際)に不安に感じたことがあれば教えてください。あてはまる選択肢がない場合は、「その他」を選択し、具体的な内容を回答ください。【複数回答可】



その他

- ・不安はなかった 15件
- ・田舎特有のコミュニティへ所属しないとイケない雰囲気は困惑した。 4件
- ・文化的な施設や催しが少ない ・介護と仕事の両立ができるのか

(7)実際にUターンして、その不安は解消されましたか？



(8)実際にUターンして、その不安は解消されましたか？の回答理由 抜粋

解消された	
希望する条件の仕事がない	<ul style="list-style-type: none"> ・今の職場が気に入った。・希望する職業に就けた。・スムーズに転職できた。 ・地元の物を使って仕事をしたかったので、そういう職場が見つかったから。 ・近隣市に希望する職種の会社があった。
仕事の不安	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員から問題なく受け入れられたから ・ある程度売上が見込めるようになってきたから
コミュニティに対する不安	<ul style="list-style-type: none"> ・同年代の人々に助けられた。・しっかり調べた為。 ・子供を中心とした家族の環境の変化が一番の心配事でしたが、家族の努力と一定の諦めも含めた理解があつて解決したと思います。 ・友人や知人との繋がりを維持するために、地元を招待するなどした。 ・綾部市はよそ者を受け入れにくいというイメージでしたが、一度溶け込むと居心地がよくなった。 ・帰ってきて、自治会の役員になりましたが、子どもの頃から知っているメンバーで、すぐに溶けこめた。以前住んでいた所へはたまに行き来出来たこと。だんだん、それも必要なくなりつつあります。 ・子供は環境に馴染みやすく、懸念する必要はなかった。 ・子供が育つ中での環境で多くの知り合いができ、今では先頭切って生き生きなされています。
商業施設・インフラに対する不安	<ul style="list-style-type: none"> ・考え方の変化があり、感じていた問題を問題と思わなくなったから。・生まれ育ったとこだから ・自分達で面白い場所を作れば良かったから。・福知山市や舞鶴市で解消できた。 ・インターネットの普及。どこに住んでいてもなんでも同じ物価となったから。

進学のために都市部へ出て、就職時にUターンすれば田舎に帰るのが辛いと感じたが、住みなれたところで、実家も近く、環境もよいため今は帰ってきて良かったと思っている。

遊びといえば飲みに行ったり、カラオケな訳で、綾部にも良い店はあるし、ネットでもできる。

日々の暮らしには影響はなく、遊びに行きたいときには数時間の車移動で都会に出かけられる。

北近畿の綾部、舞鶴、福知山で医療の連携が整いつつある。

どちらとも言えない

希望する条件の仕事がない

・都会と比べて給料が低いが家賃は下がっているから ・勤務地、勤務時間に不満

・半分は満足しているが、そうでない部分もある ・働く場所の選択肢が少ない

不安としては解消してますか、不満に思わなくもないので

コミュニティに対する不安

大部分は解消されているが、個人的には、それぞれのコミュニティにおいて、もう少し人と人との距離があってもいい(個人の価値観が尊重されてもいい)と思う。

仕事が忙しくなるにつれ、地域住民との関わりが減りつつある

商業施設・インフラに対する不安

・基本的に車移動なため ・帰ってきた当初と変わらないから

・地方都市は特に教育インフラが整わないから ・交通の便に関して不便と感ずることがあった。

農業の魅力はあるが、観光地やレジャー設備も少ないので若い層には魅力はない。

法人税を下げるなどもっと外部から人を取り込むメリットがあれば活性化に繋がるのでわ。

地域の発展に対して逆方向に進んでいる。商店街はシャッター通りになろうとしている。

綾部の地は基本的に百姓気質(農業をしているのとは違います)そのため、あまり頑張りすぎるとダメな地域だと実感しています。まあまあ、ボチボチが合っている地域です

綾部、または近隣の市にもコンビニはじめ、そこそこ色々なお店もでき便利になったが、品揃えが薄い等、結局欲しいものを買うのに都会を頼ってしまう。また、タクシーが夜中走らない、バス・電車の本数が少ない等、人口の問題かとは思いますが、交通便が良いとは言いがたい。

飲食店は知らなかったお店が多くあった。レジャーできる場所は遠く、不便さがある。

福知山に行けばそこそこある。綾部に24時間のトレーニングジムがあればうれしい。

多くの不安がある

・Uターンもよし悪しだから ・不便であることは変わらないため ・「ない」ことに慣れた

就職はできたが、商業施設や飲食店の少なさや家族関係に満足していない

解消していない

希望する条件の仕事がない

やりたい仕事はできなかった

実際に職業の選択肢は少なく、給与水準も都市部に比べると低かった

商業施設・インフラに対する不安

・住みやすい町とは思えないから ・魅力がいまいちわからない ・魅力的な施設が新設されない
・居酒屋などが少なく隣町に行くことが多い ・都市部と比較するとどうしても格差が出るため
・どこに行くにも車を運転しないと行けないから ・当時と市内及び近隣地域の環境に変化がない。
ますます少子化が進み、複式学級になるようなら小学校、中学校の統廃合をしないと児童学生の切磋琢磨ができなくなり学力も含め成長も見込めないと考えます。
不安の増大に対し地域の活性化、まちづくりに挑戦し現在も推進中である
これから年齢を重ねるごとに市街地への交通手段が不安。医療もやはり都会の方が充実しているし、凄腕のお医者さんも多い。
人口減で大手のスーパーや飲食店がまだまだ少ない。

多くの不安がある

・多くの役をやらされている ・交通網が悪い特にJR ・プライバシーが尊重されない
嫌で出て行ったので、時間が経てば変わってると思ったけど、同じだった、出て行こうとも思ったが、親が居て我慢した、今も我慢して暮らしている。うつにならないか、心配!

【考察】

大きな不安要素は37.1%で「商業施設が少ない」、36%で「レジャー施設が少ない」など、綾部市内の商業施設が充実していないことであるが、その多くは、綾部市外に出掛けたり、インターネットを活用することで不安が解消されたと回答している。ただし、市内に大型商業施設を求める声もあり、解消されていないという回答も多くあった。また、31.7%で「働きたいと思う会社や職種がない」と回答があり、地元で仕事がしたかった方の不安は解消しているが、給与水準など都会と比較している方は不安が解消していないことが分かる。そして、コミュニティに関する不安は実際に帰ってきてみると、綾部の人の良さから受け入れてもらえたり、本人が積極的に地域に参加することで解消されたり、関わりが苦手な方は距離をとるなど大きな問題ではないと分かる。しかし、人と人との関係が近いことからプライバシーに対して不満を感じる層もある一定存在することも分かる。

【キーワード】 地元の人と人のつながりが充実している

地元を活かした仕事の展開

商業・レジャー施設の充実

コミュニティ参加への仕組み

綾部らしい生活様式

【ポイント】

- ・地元で頻りに帰ってきている人へのUターン促進
- ・地元×仕事の展開
- ・立地を活かした綾部生活をアピール

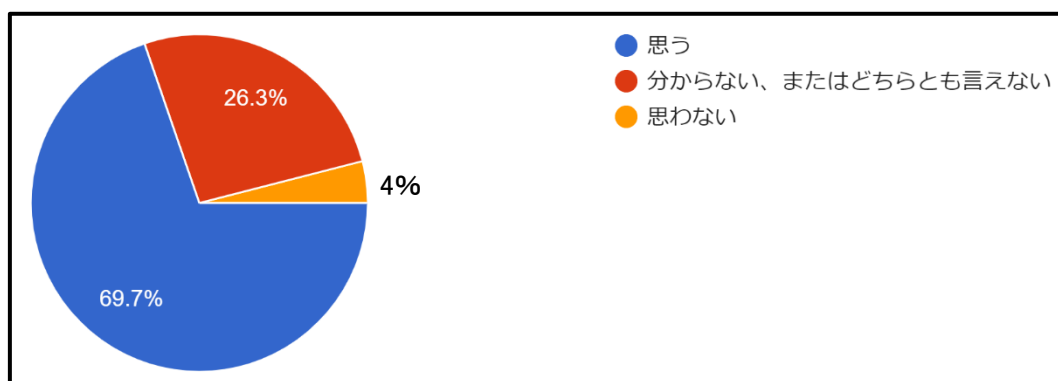
4. 転入した人の幸福度

(9)Uターンしたことで改めて感じたり、新たに気づいた綾部の魅力などがあれば教えてください。

要約

キーワード	回答数
自然	39
魅力のある人・温かい人間関係	37
(車があれば) 交通の利便性がある	13
コミュニティの一員だと実感、充足感	5
水・地元の食べ物がおいしい	4
郷土愛がある	4
子育てに適している	4
生活費が安い	3
治安の良さ	3
生活費が安い	3
歴史	2
定住促進に実績がある	2

(10)Uターンしてよかった(幸福度は向上した)と思いますか？

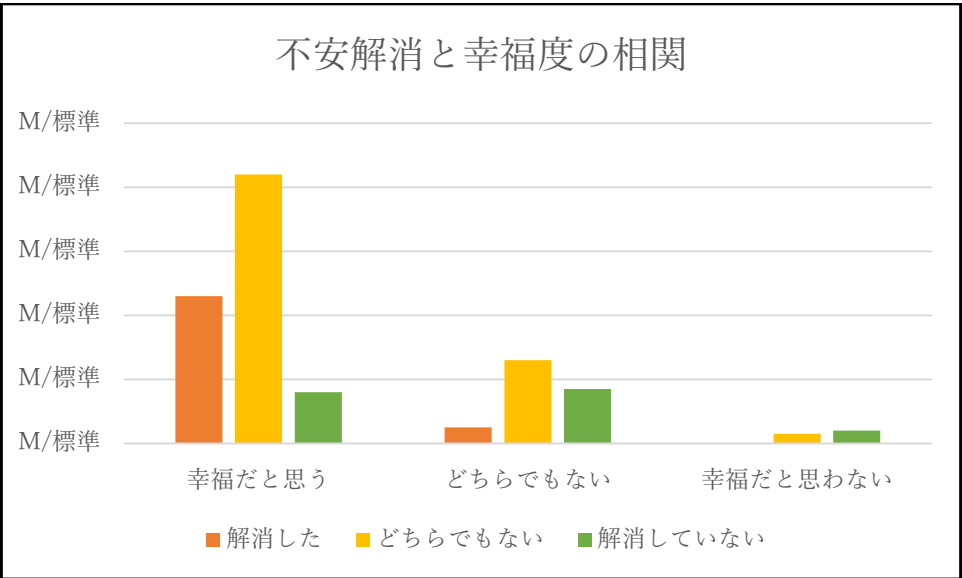


(11)Uターンしてよかった(幸福度は向上した)と思いますか？の理由(抜粋)

思う
・ストレスが無いところ、性に合っていると ・ここでしかできない仕事ができている
物価が安く、お金が貯まりやすく感じる。また、自然を活かした趣味などの充実があるから。
人との交流が増えた、子育て環境が良い、慣れ親しんだ地元での生活が心地よい。
金銭では買えない豊かな自然と安心感
会社や地域で自分が力を発揮できる場所があることが大きな幸福感になっています。
起業後、思い描いた通りのロードマップを実現できたため

<p>都会に比べ不便な部分は確かにあるが、人生においてはたいしたことではなく、むしろ綾部でしか得られなかったこと（親や先祖と地域の関わりの中で生かされている感覚。小さなコミュニティだからこそ広がったご縁や人間関係。そんな中での家族との暮らし。）が、自分という人間の人生において大きな意味を持たせてくれていると感じる。</p>
<p>自分で決めたのでUターンしてよかったと思えるように自分でするだけ。</p>
<p>住む場所自体は関係なく、自分のやりたいことがやりたいようにできる環境が良かったと思う</p>
<p>たくさんの人に支えられていると実感している</p>
<p>都市部と比べて人との繋がりが濃く広いので楽しく過ごさせてもらっているから。</p>
<p>ほどよく田舎、ほどよく街 移住者との交流も楽しい</p>
<p>都会の喧騒がとにかく苦手だったので</p>
<p>帰省前に体調悪かったが良くなった。一人暮らしの負担が親と同居することでなくなったから</p>
<p>両親、親戚、友人と同じ街で暮らせることに幸せを感じるから</p>
<p>消防団活動や近所の付き合い、イベントなどの機会を通じて多くの方と出会うことができた。</p>
<p>奥さんとの出逢いがあったから</p>
<p>子供を伸び伸びと育てられる所。家で騒いでも外でボール遊びをしても怒られる事はない。親も神経質にならずに穏やかに過ごせる。特にコロナ禍の今、ますます幸福度が上がっている。この夏も市民プールに感謝。密にならずに遊べる場所がたくさんあり、子供もストレスが溜まらず過ごせている。逆に言えば、子供が居なければ気付かなかった事かも知れない。</p>
<p>自分がここに根付く事でまた我が子が根付くチャンスを作れている事が最大の幸福です。</p>
<p>定年を迎えても田畑の維持などすべき事が沢山ある。暇を持て余すことがない。</p>
<p>親の近くで子育てが出来、かなり助けてもらった。また子供も、おじいちゃんおばあちゃんをととても大切にしてくれる優しい子に育ったと思う。</p>
<p>両親や昔からの友人とのつながりがあり、頼れる場があり安心して暮らせているから。</p>
<p>特に不自由がないことが幸福（ネットで何でも手に入ることになったのも大きい）</p>
<p>分からない、またはどちらとも言えない</p>
<p>・現時点では評価しにくいから ・土地様々な特徴があり、一長一短。</p>
<p>・不便なことが多い ・癒しを取るか利便性を取るか ・Uターン当時とあまり変わらない</p>
<p>家業でなければ、向こうで責任を持たず自由に過ごせてた</p>
<p>自分だけをみると向上したかはわかりません！ただ子どもが笑顔だから幸福だとは思いますが！</p>
<p>自分の意志でUターンしたワケではないから…</p>
<p>昔からの～っていう伝統なのか分かりませんが、昔からしていたからしなければいけないみたいな事(行事)が多すぎる</p>
<p>移住前は独身・サラリーマン、今は家族がいて経営者。</p>
<p>Uターンしたことと直接関係なく立場や環境が変わった部分があるので一概には言えない。</p>
<p>若い方向けの施設や子育て世代の対策等がない</p>

自分で決めたこととは言え、当時の「将来の夢」を諦めざるを得なかったことはいまだに後悔している。
交通の便が悪くて車に乗れなくなった時が不安
良いところが反面 居心地悪いところでありまして… <ul style="list-style-type: none"> ・細かいところで 知り合いに合う頻度が多くて 時間をとられることが多い。 ・独身女のソロ活動場がない・一人になりたい時に場所がない・独身には住みにくいと思う
思わない
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の付き合いに疲れた。嫌な事が多すぎる！ ・税金がたかい ・田舎だから ・地域性が合いません ・買い物も飲みに行くのも綾部は少ないので
故郷でなければ、住みたいという魅力がないと感じている。



【考察】

回答者の69.7%は「幸福度が向上したと思う」と回答しており、相関図より不安が解消せずとも、地元に戻ったことで幸福度が増していることが分かる。幸福度が増している層は都会にいた時と比較して地元での新しい生活を満喫している意見が多くあり、家族や地域のコミュニティと交流することで幸福度向上の一助となっていることが分かる。一方で、関わりが煩わしいと感じている方もおられるので住み分けや、そういった層への配慮が大事である。自分の意思でUターンを決定することが幸福度向上の一助となっていることが分かる。Uターンを検討している人が、どのような生活になるのかをより具体的に考え、不安要素を事前に相談できる環境が必要である。子育て世代においては子供が笑顔で生活できる環境を見ることで幸福度が上がる意見が多いことから、家庭を持っている層に対して、子供を育てやすい環境であることをアピールする必要がある。

【キーワード】 地元での暮らしイメージ構築

多様性がある地域コミュニティとの関わり

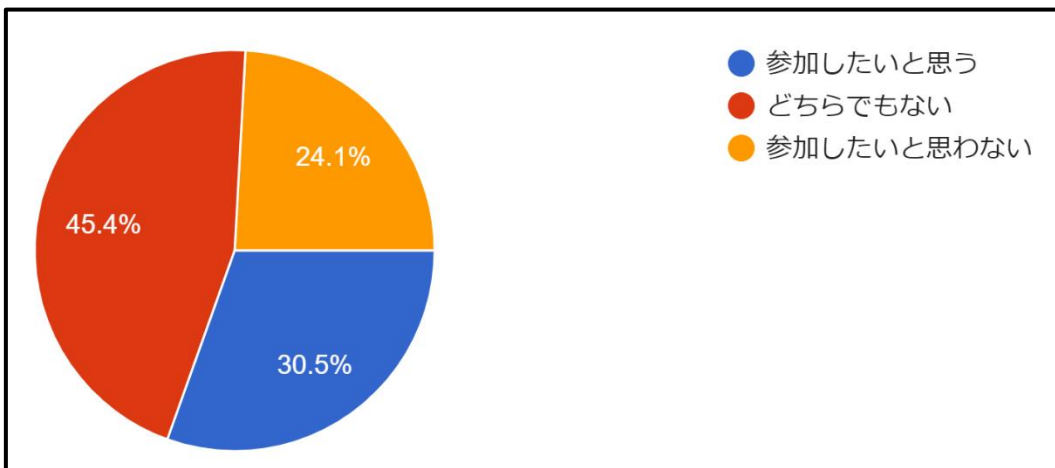
子育て環境の充実及び情報発信

【ポイント】

- ・行政と連携した綾部暮らしのコーディネート
- ・多様性に合わせたコミュニティ形成
- ・地元での子育てしやすさアピール

5. その他

(12) 今後Uターン促進にかかわるイベントや事業があれば、参加したいと思いますか？



(13) Uターン対象者に、メッセージがあれば自由にご入力ください。

・引っ越し補助金
・最近中丹でオシャレなお店やカフェも増えているので、そういった場の周知をすることで地元帰っても出かける場があるし楽しいかなーと思える気がします。
・Uターンした人には5万円プレゼントやお店で使える割引券の配布など
・Uターン者の同窓会など
①Uターン、Iターン希望者に対する起業支援
②後継者不足や経営者の高齢化で廃業を考える地元企業と、仕事を探しているU・Iターン者を結びつける「継業」支援の取り組み
①家族連れには夏休みなどを利用して、長期で移住体験できる民家、レンタルなどを貸し出す。実際に住んでみないと分からない事が多いと思うので。②都会での仕事が充実している方には、都会と変わらない水準の就職先の斡旋が必要だと感じるが、都会のオフィス街でバリバリ働きたい人、企業ブランドを重視されている方には難しい問題かも。

<p>①単年度制の団体の場合は、その年その場で終わるのではなく、市と連携し継続的に取組を続けることが重要。</p> <p>②出て行った人を呼び戻すのは至難の業。出ていく前に「綾部に帰ってこよう」と思わせる教育や取組が絶対に必要。イメージは「出ていく前:出て行った後」=7:3 ぐらい。</p>
<p>5 年ほど、税制面での優遇があると良い。</p> <p>u ターン補助金(100 万)がもらえるが、3 年は住み暮らす。</p>
<p>i ターンの人には手厚い補助があるようですが、u ターンには何も無い。</p> <p>気付いていない人も多いかもしれませんが、とても不公平だと思います。</p>
<p>U ターンした人には何か市から特典があれば良かったな。</p>
<p>U ターンした人に対して、何か補助金がでるとうれしい。</p> <p>人口減少を防ぐためにも若い人を綾部市に入れる政策を考えていくべきかなと思います！</p>
<p>U ターンしてきた人に対して引っ越し費用などの援助があればありがたい</p>
<p>U ターンして暗さが怖かったので、街灯を増やしてほしい</p>
<p>U ターンすれば得だからという視点ではなく、大学等進学するまでに綾部の魅力や、綾部での就職についての先行的な仕組みがあれば繋がらないでしょうか？</p>
<p>U ターンだけでなく外国人も含めた新規移住者も住めるような制度を考えるべきだと思います。</p>
<p>U ターンを希望されていても現実には厳しい面もあると思います。今暮らしている人たちが楽しく魅力ある生活できる[まちづくり]をしていくことで、U ターンに繋がっていくと思います</p>
<p>U ターン希望者の雇用促進</p>
<p>U ターン希望者への、市内立地企業の見学ツアーとか、就職斡旋などの経済的不安を解消する取り組み。</p>
<p>U ターン希望者専用の宅地分譲地の販売</p>
<p>U ターン者に何かしら補助金等があればうれしい</p>
<p>U ターン者に対し、減税措置があるとよい。</p>
<p>U ターン専用の相談窓口がある(各種手続き、住居や就職などの相談)</p> <p>経済的な特典がある</p>
<p>インターネット環境の拡充を望みます。</p> <p>市内の公共施設は全てフリーWi-Fi にすれば、一気に利便性があがると思います。</p>
<p>インフラ関係が高額なので軽減してほしい。</p> <p>・上下水道が通っていない。 ・水道代が高い ・ガスがプロパン</p>
<p>お金。u ターンしたら、100 万円贈呈しますとかが 1 番確率高いと思います</p>
<p>シェアアウスを目的とした施設・家の整備。友人同士と一緒に地元に戻るきっかけになるかも。家賃を複数人で折半すれば経済的負担も軽減。</p>
<p>テレビ、SNS で綾部を取り上げてもらう機会が増えればPRIにいいのでは？(シャンプーハットてつじにもっと頑張ってもらおう)</p>

<p>どのようなコミュニティが存在しているか、その実態や活動内容などの透明化がとにかく必要だと感じた。</p>
<p>どの町も同じような取り組みされています。情報発信力で差がつくと思います。</p>
<p>綾部に生まれて住んでいる時からふるさと教育、愛郷精神が芽生える機会を作る取り組みが大切だと思います。</p>
<p>綾部のために頑張ってくださいありがとうございます！</p>
<p>綾部市でも仕事ができる業種の方々が、綾部に帰れない理由をさぐり、そこを改善することでUターン促進そして、Iターン促進にもつながり、持続可能なふるさとの一助になると思います！</p>
<p>綾部市全体の店舗マップやレジャーマップにQRをつけて、それぞれ詳細が見れるようなものがあると嬉しいです。毎日更新され、スーパーなどの広告も見れたりクーポンがついたりすると楽しみになります。更新や維持が大変ですが、各店舗から更新できるようにするといいいかな...</p>
<p>医職住の職の部分が一番ポイントかな？</p>
<p>何故綾部を離れたのか、その意見を集められると、その先の取り組みに活かそう。</p>
<p>希望者に求人情報を定期的にする</p>
<p>共済制度の拡充とUターン後、都会へ帰られた人の理由を聞くことも大切です。</p>
<p>強い経済力</p>
<p>空き家や空き地を有効に利用して欲しい。 家を建てやすい環境作り(農地からの転用)。</p>
<p>空き家防止の為に家屋の改修工事補助とインフラ整備が重要である。 国の基本施策としてコンパクトシティーのみならずローカルコンパクトシティーを導入すべきである。</p>
<p>現金収入は大切。ブームには惑わされないように。</p>
<p>個人的にはやはり人間外に出て色々な経験をするのは大切だと思います。が、出ていったきりになると地元が寂しくなってしまうので、若い人達が一度外に出る前に「帰ってきたくなる」思い出が多くあれば良いのではと思います。「懐かしいだけの思い出」ではなく。</p>
<p>高卒後の進学に際して、自宅通学者の通学費の手厚い補助。</p>
<p>今の環境でも楽しく生活は出来ています。 経済的支援はどんなことでも有れば嬉しいですが、個々が人任せでは成り立たないと思います。どれだけ自分が居住している地域のことに目を向けているか。 無いものねだりじゃなく、あるものをどう活かすかを考えれるかだと思います。</p>
<p>仕事が大きな壁になると思います。既にあるのかもしれませんが、企業がUターンの人を雇えば減税もしくは補助金が出るとか...</p>
<p>仕事と住居の確保が重要。</p>
<p>子育て世代を取り込むために、就職と住居のリフォーム費用をワンセットにした補助金、貸付金制度を充実させる。</p>
<p>子供が喜ぶ施設があったら良い</p>

<p>子持ちの友人等から、子育て環境は比較的よいが、その発信がいまひとつ...という声はちらほらと聞くことがあります。子育てサロンなど近隣市と比較してもたくさんあるようですが、知られていない、探さないとわからない...といったことが多いそうです。</p>
<p>市外在住者が故郷に集まる、帰るきっかけづくりが必要</p>
<p>私は母が高齢で1人になったので、帰ってきましたので、考える余裕がなくて、要るものは要るという感じだったので、経済的な事は何とかしましたが 例と同じく、経済的負担を軽減して頂ける制度があったら、助かったなと思います。 落ち着くまで、思った以上の費用が掛かりましたので。</p>
<p>自治会長などの仕事を出来るだけ少なくする。多くの仕事が、それほど重要とはおもえない。毎月の配付物などなくしてほしい。</p>
<p>自分のときには年齢制限で受けられなかった補助金や応援金、貸出金みたいなものが受けられるようになればと思う</p>
<p>若者が求める、都会にあって、田舎に無いものって若者による盛り上がり、成功へのチャンスだと思います。青年会議の若者による盛り上を、都市部に出ていった人達がビジネスチャンスの機会と感じる様な発信を期待しています。</p>
<p>若者が若者を呼ぶと思うので、住む場所の確保やレジャー施設(流行りのキャンプ等)があると良いなと思います。自然が豊かなどと言っても、Uターン者は過去に住んでいるのであまりPRとしては適していないと思います。むしろこんな強みがありますといった、帰ってきて見返りがあるようなPRが必要かなと思います。</p>
<p>収入面では、確かに厳しさを感じます。副業も検討する必要があると思います。その副業を認める・認めないは各事業所によるので、そのような情報提供もしっかりやっていく必要があるのではないのでしょうか。</p>
<p>就職の斡旋や家賃補助など</p>
<p>就職先と住居の問題だろう。経済的負担も必要だが、甘えさず事は問題が発生すると思う。結論は金銭のバックアップは、足下を見たただ短期的な駄作で過ぎない。住居など空間を整えて受け入れたら良いのではないかな</p>
<p>住居の確保。実家が住めなく成って居る事がある？</p>
<p>住居の確保。実家が住めなく成って居る場合がある。</p>
<p>税制優遇処置はお願いしたい。 また起業する人間もしくは起業した人間を金銭的にサポートする制度を拡充してほしい。</p>
<p>積極的な情報発信</p>
<p>積極的に空家を売りに出すように促進する施策があればいい。移住希望者は多いが家がなかなかない。</p>
<p>村の仕事が多く役も非常に多いので少なくする必要があると思う</p>

<p>多くの方は、勤め先とふるさとを天秤にかけられると思います。ノマドワーク的に今の勤め先の籍を維持したまま体だけUターンができるような企業と連携されたり、そういった就業方法を都会の企業に提案されるというのはどうでしょうか？</p>
<p>沢山でなくていいので安定収入があると、田舎暮らしは良いと思う。その心理的、経済的不安を取り除けたら、今ある人生を変えることができる</p>
<p>地元に戻ることにする魅力が伝わりにくい。</p>
<p>田舎暮らしは全ては手に入らないので優先順位を説明するセミナーなど</p>
<p>電車の運賃(特に特急)の値下げ、本数が増えれば京都市内くらいなら通勤、通学圏内になると思います！！</p>
<p>都会へのアクセスする補助</p>
<p>都市部へのアクセス方法がもっと楽であれば良い。</p>
<p>働かざる者食うべからず</p>
<p>働きたいと思える会社があればいいと思う。</p>
<p>働きたいと思ってもらえる魅力的な企業が増えることが大切だと思います。</p>
<p>働き口の斡旋その為には企業誘致の更なる促進と京都線の複線化(綾部から京都により通勤しやすいする) 市民税の軽減</p>
<p>働き口の切れ目ない情報提供</p>
<p>働く所(いろんな業種)の確保が第一と思う</p>
<p>働く場の提供</p>
<p>働く場所や、処遇が、ポイントだと思います</p>
<p>特にないが、都市部との経済的負担の差があるのであれば数字で評価してみるのも良いかと思う。そういったところにメリットを感じる人がいれば進んでUターンされると思う。</p>
<p>特になし</p>
<p>年齢層ごとのニーズに基づいた戦略を練って、訴求したらいいのではないのでしょうか。</p>
<p>農家の方や、地元企業との繋がりが出来るイベントがあればより帰ってきやすいし地元での生活が楽しくなる</p>
<p>本当にやる気のある市政を目指してほしい やる気の無さと、良い加減さ 天下り先への優先資金流入 あまりにも不平等な行政では発展は無いと思います</p>
<p>魅力的な綾部に帰ってきて！帰ってきてくれたら自由にしていよいよ！ は無責任な感じがします。価値観は人それぞれですが、生きがいややりがい「綾部には豊富にある」と伝えられたらよいかと思います。</p>

夢と希望の実現＝なりわいの確保(就職や開業の支援)など、やはりバランスのよい医・職・住・教育・情報発信の充実が重要と考えます。

連絡先の整備